

## 富山市定例市長記者会見（令和2年10月1日）

### ■冒頭

市長

今日は、当初予算で計上し準備してきて、10月1日に、いよいよ発表できるというところまで本格化した事業、今年度の目玉（事業）のいくつかについてご報告します。

その前に、富山市が初めてプロンプターを使い始めたというほうがニュースになるかもしれませんので（ご説明します）。

（プロンプターを導入した）理由ですが、老眼の進行が早くて、細かい数字が（紙の原稿では）読めないのが出てきて、これ（プロンプター）だと、（左右）両側（の画面）に出ますから、それで、混乱のないようにしようというのがねらいです。安倍総理のようにこちらとこちらを見ながら、まるで（前を）見てしゃべるようなステイブジョブズみたいなことはできませんので、こちら（右）を見たりこちら（左）をみたりになると思いますが、慣れた頃に辞めることになるかなと思っています。

それでは今日は5件についてご報告をいたします。

### ■観光案内用A Iチャットボットの導入について

市長

最初は、観光案内用A Iチャットボットの導入についてです。

当初予算の説明の時にも申し上げておりましたが、これは、もっと広い範囲の観光情報を深く伝えていくためにも、県の取り組みとしてやられたらいい事業だと思いますので、（県に）お勧めしたのですが、あまり関心なかったという事業者のご報告がありましたので、せっかく提案していただいたのだから、せめて富山市でやりましょう、ということで始めるものです。

外国人観光客の受け入れ環境の充実を図るために、A I を活用した観光案内用チャットボットサービスの提供を、本日 10 月 1 日より開始をいたしました。

このサービスは、外国人の方から問い合わせをいただくことに対して、A I がインターネットを通して対応をするもので、これにより、24 時間 365 日観光案内することが可能となりました。

また、外国人オペレーターが常時チャット内容を確認しており、A I が対応できない問い合わせにはオペレーターが代わって対応をいたします。利用にあたっては、富山市観光協会のホームページにアクセスをいただくか、スマホなどのカメラを使用してQRコードを読み込んでいただくだけで気軽に始めることができ、特別なアプリをインストールする必要はありません。なお、対応言語は英語のみとなっております。

このサービスによって、言葉の問題によって窓口や電話等で問い合わせることが困難な外国人観光客の皆様にも、気軽に情報収集することができるようになるものと考えております。

コロナ禍では外国人観光客を呼び込むことが難しい状況ですが、国内に住んでいらっしゃる外国人の方も、もとよりたくさんいらっしゃるわけですので、今のG o T o トラベルなども含めて、今日から運用していくということで、なるべくひとりでも多くの方に使っていただければと思っています。いずれコロナが終息し、インバウンドがもう一度回復するということが当然あるわけですので、そこを視野に入れながら整備をし、且つ、データを蓄積していくことで、より精度が上がりますので、今から始めようということでもあります。

結果として、これにデータを蓄積していくことにより、外国人観光客の皆様のお嗜好やニーズなどを把握することが可能になりますので、これらの情報を、今後の本市の観光戦略といいますか、方針にも役立たせていきたいと思っています。

ラインのように言葉で尋ねてもらおうと、言葉で返ってくるということですね。だから、2人連れですか、どういうことに興味がありますか、どういうところへ行きたいとと思っていますか、というようなやりとりしながら、最適のルート、様々な時刻表、料金、あるいはその他の関連するおすすめの観光のご案内などを、伝えてくれるということです。

## ■ 顔認証決済システムの導入について

市長

2番目は顔認証決済システムの導入についてです。これも今日から開始をいたしました。

市内の飲食店や観光施設等に、今後、普及することが期待されている顔認証技術を活用した決済システムを導入して、事業者や利用客にその利便性を体感していただくとともに、このシステムが観光動向に及ぼす影響などを検証するという社会実験を、今日から始めました。

導入店舗はガラス美術館や郷土博物館などの観光施設をはじめ、飲食店や宿泊施設など、中心市街地と岩瀬地区、この二つの地区の計30店舗ですが、クレジットカード会社との手続きが少し遅れているところもあり、今日現在、お手元の資料にあります15店舗となっております。クレジットカード会社との手続きが完了した店舗から参加していただき、10月中旬を目途に順次、利用可能となります。

このサービスの利用に当たりましては、スマートフォンを使い、専用サイトで、氏名や生年月日を入力、合わせて、インカメラで撮影した顔情報、それからクレジットカード情報を登録することで、すぐにご利用いただけます。私は既に登録しました。行きつけのお寿司屋さんへ今日ぜひ行きたいと思ったら、中旬の組でした。もう少し待ちます。要するに、お店に入っていく時に顔を読み込む機械があつて、「いらっしやいませ」と、店舗に設置されたタブレットに顔をかざすと向こうが認識するわけです。それによってクレジットカードの情報も認識しますので、飲食した後、(お店を)出る時に、一切手続きなく、顔をかざすと支払いが終わるというこ

とになります。

さらに、富山駅では総合案内所の横におもてなしサイネージを設置します。登録した人がこのサイネージに近づくと、利用者に向けた歓迎メッセージが画面に表示されます。いわば、利用者の方に、特別感というか、お店であれば、顔パス感を味わっていただくということです。

この社会実験では利用者の居住地、年齢、観光動向を検証し、今後の観光客誘致に生かすこととしております。

この顔認証システムの登録者を増やすために、本市出身で、NBA選手として活躍中の八村塁さんが出演する本システムのPR動画を用意いたしましたので、ここでご覧いただきたいと思っております。

#### <PR動画の上映>

NBAの厳しい様々な権利の管理があり、残念ながら富山市でこれを流すことができませんが、NECのこの（顔認証システム紹介）サイトから入ってもらえば見ることができます。

なお、本日この後、メディアの皆様の方を対象とした体験会の開催を予定していますので、希望される方はご参加いただきたいと思っております。

## ■スマート農業用アプリ「農作業たすける君」の実証について

市長

次に3番目ですが、スマート農業用アプリ「農作業たすける君」の実証についてご報告します。

このアプリケーションの機能について説明しますと、富山市塩、大山上野、営農サポートセンター、この3箇所に設置した風向風速計や土壌水分計などの各種センサーの取得データを、一昨年構築しましたセンサーネットワークを利用して、本アプリケーション上で確認できると（いうことです）。今言った定点的に観測機器を置いてある場所の様々なデータを、セ

センサーネットワークを使って、ここ（アプリ内）で取得できるということです。農作業に被害を及ぼす可能性がある値を、その上（センサーネットワーク上）で感知した際には、通知がなされることになっていますので、遠く離れた圃場の状況をいち早く把握し、必要な対策を講じることが可能となります。なおセンサーネットワークを利用して送信されるデータは、風向、風速、気温、湿度、雨量、土壌水分量、そして土のpH値などです。

また圃場に設置した定点カメラで生育状況を24時間確認可能となり、アプリ内でカメラの角度変更やズーム作業も可能となっております。私の梨畑につけた監視カメラも、私のスマホから角度を変えたりズームができます。

次に生育状況情報については、2週間ごとにドローンを使用して空撮を行った画像データと、撮影した画像を数値化し、解析した生育状況を色分けで表示するとともに、生育状況が悪いときにはその原因可能性を表示します。この数値化されたものと、この色分けして表示されたものの上で、ここに原因があるのではないかという可能性を（表示する）ということです。

また、生育ステージごとに日々の生育状況や病虫害の発生状況を記録する生育状況記録機能があり、タブレットのカメラで発生状況画像を撮影するなど、データを蓄積することで、今後の栽培に役立つ事例集の作成が可能となります。

さらに、耕起、畝立、除草等の作業ごとに、無人運転トラクターや自走式草刈り機などによる作業時間等を入力し、作業時間の省力化等をアプリ内で表やグラフ等を表示し、可視化する労働日報記録機能があります。手作業の数字も、旧来のデータも一緒に把握していて、旧来のやり方と、この自動化したものの必要とした時間とか、様々なデータを比較して、今後の営農に生かすことができるということです。

つまり、本アプリケーションについては、経験に基づく農業からデータに基づく農業への転換を目指すこの取り組みの一環として、本日から実証

を開始することとしており、実際に生産者の方に使っていただき、来年度にかけて、より実用的な内容にアップデートを行っていく予定としております。

また蓄積しますデータの解析や株間除草ロボットの改良と合わせて、来年度にかけてエゴマ栽培におけるスマート農業について効果検証をしていきたいと考えております。

なお小学校児童及び教職員を対象とする本アプリケーション及びスマート農業機器の実演会の開催を11月に予定しております。(実演会実施予定の小学校は) 近くの大久保小学校などを予定しております。

すぐに個々の生産者にこういうシステムが普及していくとは思いません。しかしそういう方向に向かっているということ、大規模営農者だけでなく、個々の営農者にも見ていただくことによって、これからはこういう時代だなということを感じていただくということが大事だと思っています。

去年からいろいろ梨の作業をやってみて思いましたが、近くで本格的に業としてやっていらっしゃる若手の農業者の方は、pHをきちんと測って、畑のデータをきちんと記録して、さらに様々なデータを取っているの、既に、スマート農業とまでいかななくても実際の営農はデータの蓄積がいかに大切かということを実感しています。それを、このような機器を使って、スマート農業としてやっていく時代になれば、ますます営農計画も立てやすくなりますし、もしどこかで病気が発生しても、このあたりでこれが原因ということなどの把握が早くできますので、対応も早くできるという時代がもう目の前だという感じがします。

## ■水産物・和牛等を楽しモーキャンペーンについて

市長

次も農林水産部の事業ですが、水産物・和牛等を楽しモーキャンペーン

を開始いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりまして、白エビについては漁獲高が前年比 4 割程度、和牛については取扱高が前年比 7 割程度など市内産農林水産物の消費が落ち込んでおります。これは売上金額のことです。捕れても値段が安いので、漁獲量ではなく、漁獲高が 4 割程度という状況にあるわけです。また市内の飲食店におきましても利用者が低迷し、経営状況に大きな影響が出ております。

そのことから、このキャンペーンでは、市内の飲食店等が、市内産農林水産物を使った特別メニューを販売していただくことで、需要喚起を図っていくこととしております。また利用者がその特別メニューに対し、市が発行した水産物・和牛等を楽しムークーポンを活用できる仕組みとすることで、生産者や飲食店を支援していきたいと考えております。すべてのメニューに使えるわけではなく、このプロモーションのために用意していただいたメニューについて使える、こういうことです。

このクーポンは、富山市漁業協同組合で水揚げされた水産物、もしくは富山市産食用肉を使用したコース料理、テイクアウト商品またはデリバリー商品を提供する飲食店や宿泊施設で使用できます。

クーポンは 4000 円以上のメニューで利用できる 2000 円割引券を 2 枚 1 組 10,000 組、8000 円以上のメニューで利用できる 4000 円割引券を 2 枚 1 組 5,000 組発行することとしており、令和 2 年 10 月 16 日（金）から 30 日（金）までの期間で利用者の募集を行い、申込者が増えれば抽選となります。

次に、利用できる飲食店等は公募制となっており、令和 2 年 9 月 29 日から 12 月 18 日までの期間で、申し込みを受け付けることとしております。

なお利用可能な飲食店等と対象となるお品書き等のメニューは随時、市のホームページで公表して参りますので、各店舗のメニューを見比べて楽しんで選んでいただければと考えております。

クーポンの利用期間は、令和 2 年 11 月 16 日（月）から令和 3 年 2 月 14

日（日）までと、かなり期間を長く設定しております。さらに、テイクアウト商品やデリバリー商品も利用可能としておりますので、今後、新型コロナウイルスの感染が拡大した場合にも対応できるものと考えております。

利用期間中は、まず一つにクリスマス、さらに年末年始を挟みますし、年が明ければ2月にバレンタインなど、イベントごとの多い時期でありますので、ぜひクーポンを活用いただいて、本市のおいしい農林水産物を楽しんでいただきたいと思いますと考えております。

これが全部はけると、かなりの売り上げになると思います。メニューには富山市産のものを使うということですので、生産者の方にも喜んでいただけていると思っています。

## ■ グリーンスローモビリティの運行について

市長

最後にグリーンスローモビリティの運行について申し上げます。

市は本年よりSDGs未来都市として持続可能な地域公共交通網の形成を目指すために、環境に優しく、低速で安全なグリーンスローモビリティを導入することとしております。

本事業は、富山駅北地区においてモデル運行することで、公共交通空白地域の新たな移動手段の一つとして、グリーンスローモビリティを広く普及啓発するとともに、（これは駅北地区が公共交通空白地域だと言っているのではなくて、市内にあります公共交通空白地域に参考にしてもらえばということです。）路面電車南北接続後の富山駅北地区のさらなる賑わいを創出するというのも目的の一つであり、富山の魅力を向上させたいということです。

前に図示してありますが、グリーンスローモビリティとは、電動で時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗り以上のパブリックモビリティ

のことを言います。高齢者でも安全に運転することが可能なため、地域が抱える様々な交通の課題の解決と地域での低炭素型モビリティの普及を同時に進められると期待されております。

今回、富山駅北地区で運行するグリーンスローモビリティは、ここにあるパネルのイメージのように小型バスタイプを導入するもので、車両名は「B o u l e B a a S (ブルーバース)」といたしました。「ブルーバール」と「バス」とから作った造語です。さらに「M a a S (マース)」も掛け合わせてあります。さらに、これを小さいお子さんでも覚えやすいよう、愛称として、頭文字を取って、「ビービー」としております。

車体のベースカラーはポートラムと同じパールホワイトとし、ポートラムはパールホワイトの上に七色、色が塗ってありますから、このパールホワイトとし、歩行者と同じ空間をゆっくりと走っていても違和感を与えない、親しみやすいカラーリングデザインとしております。

運行は、10月10日(土)から開始します。アーバンプレイス前から市総合体育館前までの約500メートルの区間を午前10時から午後4時の間に、約20分間隔で、経路上の5ヶ所に設置された停留所を経由しながら運行します。

主に土曜、日曜、祝日を中心に運行しますが、周辺にいろいろなイベントがある場合、それに合わせて平日にも運行することとしております。運行状況については、専用のSNS、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックなどを開設する予定ですので、ご利用の際はそれで確認をしていただきたいと思います。

運賃は無料です。定員は9名、(車両は)10人乗りですが運転する方が1人おりますので9名です。そのような定員なのですが、当面、新型コロナウイルス感染症対策として、1回の運行につき、乗車人数を5名程度に制限させていただく場合がありますのでご理解をお願いします。ぜひとも多くの市民の方に「ビービー」にご乗車いただいて、人と環境にやさしい新たなモビリティを体感していただければと考えております。

また運行開始の前日であります10月9日（金）の午前10時より、アーバンプレイス前にて出発式を行う予定です。出発式の出席者及び記者の皆様方にも試乗していただきたいと考えておりますので、ぜひご参加をお願いいたします。

おわかりだと思いますが、アーバンプレイス、カナルパークホテルの前、KNB本社ビルの横、大変、歩道が広い道路ですので、ここを道路ではなく広場と位置付けて、運行すると（ということです）。もともと公道を走れるものですから、KNB本社まで渡るところは道路上を走りますが、これも警察との協議が済んでおります。とりあえず当分の間、図示しました場所で折り返してくるということをやりたいと思っています。

せっかく南北自由通路で駅の南と北が繋がり、路面電車も繋がりましたので、やはり人の流れ、イベントのあり方みたいなものが、駅の南口広場、それからこれから整備が完了してきます北口広場、さらに広い空間であるブルーバール、この辺りを一体的に使っていただくことを考えながら、この社会実験をやっていくと（ということです）。

もう一つは、先ほども言いましたが、こういうのであれば交通不便地帯である自分たちの地域にも駅までつなぎたい、バス停までつなぎたい、などということを感じていただいて、そのような声が上がってくれば、なお、望ましいと思っています。

---

## ■ 質疑応答

### 記者

小中学校の再編統合についてお聞きします。9月定例会で市長は「再編統合は避けて通れない」と述べ、小学校においては「1学年2学級」を最低ラインとして示しました。その基準に当てはめると、統合の対象となり得る学校が見えてきます。市長の考えでは、今後は旧市町村域を超えた統合も十分にあり得るということでしょうか。

市長

教育委員会の行政なので、議会の答弁でもそう断って答えましたが、学校の設置は市長部局の仕事ですからいいと思いますし、総合教育会議も設置されていまして、市長が教育行政に意見を言うということも許される時代になってきましたので、お許しいただいて言います。データをここにもらっていますが、富山市の児童生徒数は、昭和60年（1985年度）、56,059人だったそうです。それが、令和2年度（2020年度）、つまり35年で、現在29,887人。これを比較すると、46.7%の減少、数でいうと26,172人の減少です。今後さらに減少していきますね。

今、1学年3,000人ぐらいで、それぐらいまた産まれてもいますが、この3,000人が減っていくわけですから、6年後には小学校に入る、その3年後には中学校に入るということです。さらに減っていくことを放置していると、1学年1クラス、それも少人数の1クラスということがあちこちに出現してきますので、これは教育の見地、観点から見ても非常に問題だと思っております。

文部科学省の標準校でいうと1学年3クラスが望ましいということですが、文部科学省も少なくとも2クラスという言い方だったと思いますので、まずは1学年2クラスというものをしっかり確保していくと。1クラスだけだと、必要な、あるべき教員の配置がなされないことになってしまいますので、1人の先生が複数科目を中学においても（指導）する、場合によると、教員免許を理科で取っているのに英語を教えるというようなことさえ予想されるわけです。なので、子供の教育のために、そういうことは避けなければならないと（思っています）。

その上で、実は教育にとどまらず、教育水準がそれほど良くないのではないか、と外から見えるようなところに、新たに転入してくる若いご家族はいない、いないとは言いませんが少ない、ひよっとすると、その学校の水準が低いからということで、内（教育水準の低い地域）から外へ出ていく、そういうことも容易に考えられます。

従って、産業政策、例えばそういうところに新たに投資して、工場を作ってくれるか、研究機関を作ってくれるか（というと）、それは難しいと思います。なので（教育水準が）産業政策にも繋がり、そして人口の問題にも繋がり、まちづくりにも（繋がり）、様々なところに影響するので、教育委員会だけの問題ではなく、富山市のあるべき近未来像ということを考える上で多面的に影響が大きく、議会ではそういう趣旨で、避けて通れないと申し上げました。

従いまして、旧市町村域を越えた再編が、理論的にはいくらでも考えられると思います。私はそれにとどまらず、市町村を越えた再編だってあり得ると思います。どことは言いませんが隣接している市町村の中には1校しかないところだってあるわけで、それが文部科学省のいう標準校の水準を維持できなくなる日が来るとしたら、広域で考えていくということは十分あり得ることだろうと、理論的には思います。当面はそういうことはないと思いますが、つまり旧市町村を超えるということ（だけ）にとどまらない時代もあり得るだろうという認識です。

## 記者

引退表明をされている市長の任期満了まで半年余りとなりました。残る任期で優先して取り組まなければならないと考えていることは何でしょうか。具体的なスケジュールなども含め、教えてください。

## 市長

もう10月に入りましたので（任期が）4月23日までですから、あと6ヶ月半ぐらいです。今日は、今年度の当初予算で計上し、議決いただいた事業がちょうど半年で、いい到達時期にきて、今日から開始しますということをつくもご報告できたので、今年度の事業としては比較的順調に進んでいるという印象を持っています。

これで2年続けて雪が少なかったのが今年の冬どうなるかわかりませんが、今日の部局長会議でも、今年度の事業の中で予定されている発注、契

約をなるべく早くやって、繰り越してみたいなことがないようにして欲しいと（お願いしました）。特に、私の任期が4月23日に終わるので、ということもお願いしました。

コロナの影響によって、例えば、センサーネットワークを使って様々なデータの収集みたいなのことも大事な取り組みなわけですが、この辺りにも、少し影響が出ているとは思いますが、データ収集はしっかりやって、今年度進めていくということも大事なことだと思っています。

今、申し上げたことは、これから半年で何をやるかということではないわけですが、言いたいのは、まず、予定しているものを着実に進めて、積み残しのないようにしたいというのが、今後半年、心していくことの一番大きな事柄です。

その上で、最大の、今から半年の間にやらなければいけない作業は、後継を見つけることだと思っています。もし本当にどなたも、強い意欲で、手を挙げようとされないのであれば、私がやっぱりいろんな人と会いながら、後継を見つけるというか、後継の市長は市民が選ぶわけですけれども、立候補しようとする人を見つけた上で、市民の選択にあたってもらうということが仕事だろうと思います。最近、何人もの方から「誰もいなかったら責任を取ってもう一回やって欲しい」というご発言もあるのですが、それはありえないので、少なくとも積極的に、そろそろ動いて、いろいろな方の意向を聞いてみようかということも考えています。

前にも少し言いましたが、富山西インターチェンジを作った時のNTT債の償還を市が立て替えてきましたので、その部分を市に返還をしてもらう、これがもし難しいとすると、次の市長にその負の遺産を残したくないので、私の責任において、3月議会に債権放棄を提案しなければならないと思っていましたが、目途が立ちました。商工労働部の報告を聞きますと、金額でいうと、1億8000万円ほど残っています。ところが、今後分譲します新しいところの予約もかなり入っておりますので、これで5区画が売れば返せるという目途が立ちましたので、これは心配ないかなと思います。

もう一つは、市有地に宗教色の強いものが存在するというのがいくつもあって、それも課題でした。しかし、昨年度から力を入れて、何とか処理をしようということで、方法としては、そこを分筆して当該集落の地縁団体などに無償譲渡をして、建物を壊すのではなくて、市の所有地ではない状態にするということをしなから、目途がつかしました。今年度中に、そのような何とも説明しにくい、昔から残っていたもの、市有地なのにお地藏さんが立っているとか、そのようなものも私の責任において解消したいと思います。

あとは、係争中の訴訟が何件か残っています。これはもうエンドレスにいつもありますし、被告は市なので、訴訟が終わらなくても、このことについてはそれほど責任を感じる必要はないと思っています。

あとは、政務活動費の返還を求めようという、富山市長たる森雅志に返還を求めようという訴訟は継続していますが、実質的にこれは、市長が変われば、求めようとされる対象は新しい市長になってくるということだろうと思いますので、これについても裁判所の裁判に委ねるということですから、私がハンドリングできることではないので、早くするとかそういうこともできません。そういう意味では、気がかりなものは、残さずに済むかなというふうに思っています。

その上で、あと半年余りしかないのに、これから新しいことを取り組もうということは起きてこないと思いますし、今も頭にはありません。問題は、来年度の骨格予算の編成をしつつ、実質上は政策的なものも盛り込んだ予算の準備案みたいなものを準備しておく必要があると思いますので、新しく市長になった方が、それにさらに手を加え、あるいはこれはやめようとその方が判断できる、一応、検討のたたき台になるものは作っておかなければならないだろうと思っています。4月23日に任期が切れるから24日に就任されて、6月議会に提案されるというのはなかなか難しいと思います。ですので、今、それぞれの部局が考えているそれぞれの新規事業みたいなものは、そちらの方（たたき台になるもの）に潜ませておいて、もちろん3月議会にかけませんが、骨格予算の準備と、この予算の前段階のものの準備というものは、各部局と相談しながらまとめておく、これが

私の責任だと思っております。

雪が心配ですね、スキー場がまた大きな赤字しか残さないということになると、このあたり悩ましいので、財政調整基金などを使って、0 にまでだけした上で引き継ぐか、このあたりはこれからの判断になるだろうと思います。

---

記者

先ほど、私も顔認証決済システムを登録したのですが、改めて観光面での期待、ねらいについて教えてください。

市長

新幹線が通った年ですから、6年ぐらい前になるかな。東京を中心にして誘客キャンペーンというのを、実は富山市はやらなかったんです。それは、どうしても金沢に吸い寄せられて行って、富山に降りる方は少ないだろうと思ったからです。ただし、県のキャンペーンには応分の負担をして協力を、観光推進機構というのについてはもちろんやりました。

そこで、代わりに何をやったかというのと、夏、軽井沢へ来ていらっしゃる首都圏の方々に、「富山の寿司を食べに来ませんか」キャンペーンというのをやったんです。軽井沢のプリンスホテルのスパに、作ったパンフレットをたくさん置いて、路面電車無料の券も置いて。（このキャンペーンにより）たくさん（の観光客の方が）来られました。その後も、長野県のFM放送で、「富山へ寿司を食べに行きませんか」キャンペーンを毎年やっています。

これはすごく富山の特色だと思います。ますのすしも含めたおいしいお寿司を環状線を使って、いくつもの店をまわる。そのようなことを考えたとき、それに加えて、いくつものお寿司屋さんが顔認証システムを導入してくれるとすると、これは目新しさもありますし、リピーターに繋がりますね。ご本人が顔認証登録してお寿司屋さんを巡ったり、おいしいお魚の

店、割烹をまわったりすると、それが観光において非常に良い効果を生むということに、強い期待を持っています。

認証した人は必ず使うでしょう。使いたいと思うし、リピーターに繋がると思いますよ。ご家族を連れでいらして、子供に、「パパは顔パスなんだよ」なんて。

その上で、既に駅前でJR西日本の工事が始まりましたが、まだホテルが建ってくるわけです。ですから、そのホテルでの（顔認証決済システムの）利用についてもホテルが積極的に参加していただくと。僕は南紀白浜で泊まったホテルで体感してきました。前にも言いましたように、チェックイン（の手続きを）しなくても、「森様いらっしゃいませ」と出て、（顔認証で）チェックして大丈夫ですよ、と。部屋に行ったら顔認証でドアの鍵が開いて、帰りもチェックアウトを一切しないで帰ってきて、ということを実感しましたので、既存のホテルのみならず、今建築中のホテルにもお勧めして、そのようなシステムを導入してもらえば大変、富山の魅力を上げることになると思っています。

---

※ 発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課